
終着駅

ソラ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

終着駅

【Nコード】

N0569Q

【作者名】

ソラ

【あらすじ】

私の残りの人生でやらなくてはいけない事。それは『復讐』。但し、殺すとかでは無く、相手に後悔しながら残りの人生を送らせる事。それが出来た時、私の人生が終わる時。その私の人生が終わるまでの出来事を書きたいと思います。

終着駅

私は今38になります。この人生で受けた辛い日々を書きたいと思
います。それは七年前に起こりました。私には二つ上の兄がいます。
その兄が約一回り下の彼女を連れて来たのです。初めて見たその女
性は大人しく今時の若い娘とは違い礼儀正しい娘でした。その日は
父も母も喜んでました。それもその筈。兄は高校を卒業してから家
に帰らず京都で一人暮らしをしていたのです。借金をしたりヤクザ
と行動したりとよく両親を困らせていました。その兄がようやく落
ち着き結婚したい女性を連れて来たのですから。その日の夜はお寿
司を頼み皆笑って過ごしました。兄は翌日仕事の為彼女と帰りまし
た。私は親とこの日の事を楽しく語り合いました。親はやつと『落
ち着ける』と言い眠りについたのです。しかし、この出来事が両親
を最悪な残りの人生を送ることになるのです。私と親は思いもしな
い人生に。

初めて彼女を連れて来て約一年後、婚約が決まり結納を交わす日が
来ました。場所は彼女実家がある京都。彼女のご両親は物静かな方
で父親は学校の校長先生をしている方でした。家に招かれた私達は
一つの違和感を感じたのです。結納を交わした時期は八月。真夏の
真っ只中。暑い日にも関わらず冷房がかかっています。付
け忘れたのだろうか?と思いましたが何も言わず結納を勧めました。
そして場所を変え両家全員で料亭で食事をする事になりました。料
亭での会話の中、相手の家族が揃って居ない事が解ったのです。相
手には長男が居たのですが来ていなかったのです。相手の話しによ
るとその長男は急な用事がありこられないの事。詳しい事は聞
きませんでした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0569q/>

終着駅

2011年1月16日02時31分発行